

議会報告会報告書

1. 開催地区名 船川地区

2. 開催日時 令和8年8月7日（金）13時30分から15時26分まで

3. 出席議員 太田 穰（代表者） 佐藤 誠（職務代理者）
吉田 洋平 夏井 博子 船木 一人

4. 参加者数 15名

5. 意見・要望等

（1）議会に対する事項 な し

（2）市政に対する事項

- ① 市民幸福度調査における380人の妥当性と、調査方法の考え方は。また、本当に幸福と考えているのか。
- ② 森林環境譲与税活用事業について、森林整備を担う人材育成等の取組を推進するとあるが、実際に何をするのか。また、農林水産課に林業学校を卒業した人を採用する考えがあってもいいのではないか。
- ③ 妊婦さん応援給付金について、「妊娠している子ども1人につき5万円」の表現は誤りではないのか。
- ④ 南平沢の防波堤は、今は中に入ることができないが、昔は見事な釣り場であった。釣り場として活用することはできないか。海への転落など懸念事項はあるが、自己責任で対応すれば問題ないのではないか。また、飛鳥Ⅱなど客船が入港した際は、フォトスポットとして活用できるのではないか。
- ⑤ 船川港1万5,000トン岸壁に、愛称を設けたほうがよいのではないか。やり方は広報等で募集すればよいと考える。
- ⑥ 全国的に看護師が足りない状況であると報道で知ったが、みなと市民病院の看護師の充足率は問題ないのか。

- ⑦ 人口減少や維持管理費の増大などの理由により、船川北公民館が廃止になると聞いている。活動していた団体は田中地区の公民館を紹介されたが、使用する際は、直接、町内会長に連絡を取り使用することとなっている。町内会施設の使用にあたっては、行政が仲介役となり対応していただきたい。
- ⑧ 複合交流施設の建設地について、果たして男鹿駅周辺広場の市民駐車場が適切なのか。また、将来を見据えた考えなのか。さらに、完成までのスケジュールと郷土資料を入れる考えはあるのか。
- ⑨ 子育て世帯に対する取組は理解するが、生活の基盤がないと移住・定住にはつながらない。生活の基盤を安定させるため、企業誘致を強化するべきではないか。
- ⑩ みなと市民病院の利用者のためにテレビなどを設置したが、それはサービスとは言えない。秋田市内の総合病院では、掲示板に順番が表示されており、診察時間が予測できるため、待ち時間を有効に活用することができる。もっと患者目線でサービスを考えていただきたい。
- ⑪ 昨年度に要望した金川グラウンドと文化会館の間の水路については、「船川港湾事務所の管理であり、同事務所から現地確認のうえ対応する」としているが、経過はどうなっているのか。
- ⑫ 滝の頭の給水箇所には水を汲みに来る人もいるが、水を飲みたい人もいる。水飲み場を設置できないか。
- ⑬ 十和田湖には乙女の像、田沢湖にはたつ子像がある。男鹿にはシンボルとなるものがない。椿の海岸線等に椿姫の像をシンボルとして建造していただきたい。
- ⑭ 国定公園あるがゆえに実施は難しいかもしれないが、寒風山の姫ヶ岳に、登頂の記念撮影ができるような標高の分かる標柱を設置したらどうか。フォトスポットとしても利用が期待できるのではないか。
- ⑮ 入道崎に北緯40度のモニュメントがあるが、東経が交わるモニュメントを設置してはどうか。
- ⑯ 桜の名所と呼ばれるスポットを望む。
- ⑰ 入道崎の北緯40度線の長い石畳があるが、歩きづらいので芝生を歩いている人が多い。歩きやすいように舗装してはどうか。
- ⑱ アオコが船越水道を通り、船川港まで流れている。海水への影響もあり、船川港で釣れなくなった魚もいる。具体的な対策を検討する必要があるのではないか。

6. 特 記 事 項

■協議等が必要な事項

(1) 議会に対する事項 な し

(2) 市政に対する事項

5. (2) のうち、④、⑤、⑦、⑪、⑫、⑬、⑭、⑮、⑯、⑰の事項について